

◎新潟県告示第200号

農地法(昭和27年法律第229号)第41条第1項後段の規定により、農地中間管理機構から農地を利用する権利(以下「利用権」という。)の設定に関する裁定の申請があった。

令和3年2月26日

新潟県知事 花 角 英 世

1 申請に係る農地の所在、地番、地目及び面積

所在及び地番	地目	面積(平方メートル)
阿賀野市大字堀越字市戸3964番	田	1,140
阿賀野市大字堀越字片田3498番1	田	868
阿賀野市大字堀越字片田3499番1	田	580
阿賀野市大字堀越字砂田3287番1	田	1,004
阿賀野市大字堀越字砂田3292番1	畑	50
阿賀野市大字堀越字砂田3410番1	畑	66
阿賀野市大字堀越字砂田3410番3	田	6.55
阿賀野市大字堀越字砂田3411番1	田	0.42
阿賀野市大字堀越字砂田3413番1	畑	52
阿賀野市大字堀越字砂田3413番子	田	16
阿賀野市大字堀越字砂田3414番1	田	376

2 申請に係る農地の利用の状況

現に耕作の目的に供されておらず、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる。

3 申請に係る農地についての申請者の利用計画の内容の詳細

農地法第41条第2項において読み替えて準用する同法第39条第1項の規定による裁定後に、農地中間管理機構から申請に係る農地の借受を希望する者に当該農地を貸し付ける。

4 希望する利用権の始期及び存続期間並びに借賃に相当する補償金の額

利用権の始期	存続期間	借賃に相当する補償金の額
令和3年6月	5年	189,280円

5 意見書の提出

この告示に係る農地の所有者等は、次に掲げるところにより、知事に意見書を提出することができる。

(1) 意見書の記載事項

- ア 意見書の提出者の氏名、及び住所(法人にあっては、その名称及び主たる事務所の所在地並びに代表者の氏名)
- イ 意見書の提出者の有する権利の種類及び内容
- ウ 意見書の提出者の申請に係る農地の利用の状況及び利用計画
- エ 意見書の提出者が申請に係る農地を現に耕作の目的に供していない理由
- オ 意見の趣旨及びその理由
- カ その他参考となるべき事項

(2) 提出期限

令和3年3月12日

(3) 提出先

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
新潟県農林水産部地域農政推進課

(4) 提出方法

上記提出先への持参又は郵送